標的型メール攻撃ってなに？？

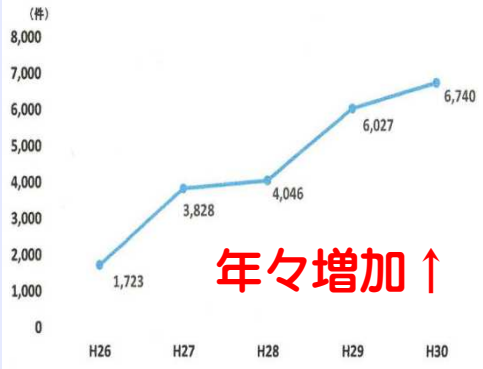
時津警察署　電話095-881-0110

警察が把握したサイバー攻撃（中でも標的型メール攻撃）の認知件数は、平成29年は6,027件、平成30年は、6,740件と年々増加しています。
ここでは、「標的型メール攻撃」について解説します。

標的型メール攻撃とは、、、
ウィルスを埋め込んだファイルを添付したメールを相手に送りつけ感染させて、企業内部の情報などを窃取する攻撃手法のことを言います。

？どんな攻撃方法が確認されているの？

標的型メールは、「ばらまき型」とそれ以外に分けられます。
「ばらまき型」は、その名の通り、ウィルスが添付されたメールを不特定多数にばらまく方式です。
それ以外は、特定の企業を調査し、その企業の従業員が見るようなメールや添付ファイルを送りつける方法です。
平成30年度は、ばらまき型が攻撃の90％を占めています。



？？どんな人が攻撃してくるの？？

送信元のメールアドレスは、全体の98％が偽装されていると考えられています。
警察では、国際的なハッカー集団「アノニマス」を名乗る者が、21組織に対して「サイバー攻撃を実行した」とする犯行声明をSNS上で掲載している状況を確認しています。

？？？　どうすれば防げるの　？？？

実行ファイル形式（.exe）、スクリプト形式など、通常ではありえない拡張子（ファイル名末尾の「.」以下の文字列）や圧縮ファイル（.zipなど）などの添付ファイルは要注意！
メール内容に不審点がなくても、不審なアドレスからのメールは開かない。

◎　安易に添付ファイルを開かないで！　◎